

第9回PI外環沿線協議会 傍聴者アンケート

(出されたアンケートをそのまま事務局でワープロ化したもので、加筆修正は行っていません。よって文章が繋がらないところや、判読不明な文字のところも有ります。)

1. 本日のPI外環沿線協議会に関するご意見・ご感想
2. 外環についての日頃のお考え、思っていること
3. その他、協議員や事務局などに伝えたいこと

『世田谷区喜多見在住、30代、男性』

1について

- ・読売新聞の記事についてこだわりすぎ。「あんな物がでた、とか出ない」とか住民・反対派の感覚もよくわからない。

2について

- ・常識的には到底着工できる工事ではないと思います。土木中心のゼネコンの救済策にすぎないのである・・・?

3について

- ・今日、資料が少なく、急ぎで事務局の方々がコピーしてくれて、配ってくれました。会社の仕事でも共通するこれら裏方の皆さんの苦勞が理解できて、本当に頭が下がりました。今日の協議会の内容は、資料がないと本当に傍聴の意味が無く、助かりました。1部コピーの濃度で読みにくい所はありましたが・・・。
- ・しかし、これと併行して開催されている有識者委員会で、議事録によれば、ある「有識」者委員が、「傍聴者の便利など、どうでも良いが・・・」云々の発言をされています。この方は、都市計画・土木の専門家らしいが基本的に「民主主義」とか「市民参加」とかいう事をどう考えていらっしゃるのか？はたしてこのような程度の人物が「有識」者なのか？甚だ疑問に感じます。誰がこれらの人を選んだのでしょうか？出て来る提言とやらも、今から大変、不安に感じます。果たして勉強くらしい事があるのでしょうか？

『三鷹市在住、70代以上、男性』

1について

- ・意見も出ていたとおり資料説明に終わってしまうと途中で終わってしまった。

2について

- ・あらゆる面からみても、このような道路の建設は絶対に行うべきではない。

『練馬区羽沢在住、70代以上、女性』

2について

- ・三環状を作ったたった一割の大型車しか削減されないのですか？具体的な台数を出してください。
- ・4車線又は6車線×3でものすごい車線増になる分だけ車の走行量の絶対数がふえ、大気汚染の広域化、東京のヒートアイランド化は大変なことになるのでは？と心配です。

3について

- ・外環を作ることによる環境への影響はまず第一の課題とすべきではないでしょうか。

『武蔵野市在住、50代、女性』

1について

- ・司会者は発言(長い、他)に対する整理、リードが出来ていない。これでは相変わらず、かみ合わず、時間のロスにつながります。
- ・「原点に戻り、必要性の有無」からとなっているのに、伊勢田氏の資料はナンセンス。出て来た資料は全部説明させるのですか。司会者の認識はどうなっているのですか？

2について

- ・交通量を減らすアイデア。輸送法のアイデアなど、出しつくし、やりつくした上での外環必要論なんではないでしょうか。

3 について

- ・ 必要性の有無の議論に必要な資料は伊勢田氏によれば「以上・・・」と言われましたが、その認識に驚きました。もっと大切な資料があるはずでしょう。(その他の項目でも)江崎さんのような資料こそ大切です。

『吉祥寺南町在住、50代、男性』

1 について

- ・ 資料が良くまとめられていない。

2 について

- ・ テクノロジーアセスメントをもっときちっとして、その資料を出す必要がある。

3 について

- ・ 11/21の協議会に出席できませんので、資料を欲しい場合はどのようにしたらよいのでしょうか。

『杉並区堀ノ内在住、20代、男性』

1 について

- ・ 委員会の方の発言時間が長すぎる場合があると思う。5分なら5分でベルを鳴らす等しないと全員に平等な発言権があるとは思えない。
- ・ 資料が多すぎる。大切なものばかりであると感じるので委員の方は事前に目を通して早急に議論に入っていたらいい。行政側も多忙だと思うので間に合わなかった資料は、今回分に含めず、次回に回せば良いと思う。
- ・ 前半の1時間半は何だったのか？事前に目を通せる内容なら改めて都庁で論じる必要はないと思う。
- ・ 行政側がアセスとセンサスの比較を公開し、そのズレを認めたことは大変評価できると思う。
- ・ そもそもPIの目的はなんなのか？もう9回も実施されているのにも関わらず何か決定されたことがあるのか？
- ・ 月2回×2hoursで十分な論議ができるはずない。こんなに大勢で協議する前に、少人数による討論会が必要なのではないか。

3 について

- ・ 行政側の態度が不透明(外環をつくるという観点で議論を進める気なのか、本当に住民意見を取り入れて場合によっては建設中止、凍結もありうるのか)。
- ・ 個人的な意見は最小限にしていきたいと思う。

『越谷市在住、50代、女性』

1 について

- ・ 東京都がよみうりとの関係でこの会議でここまでまとめてにつめたあと論ずべき時に公開されていること。住民参加のPIの協議会に対し、委員の住民代表の方々の気持ちもよく分かります。国土交通省のすすめる住民参加はただ意見は言わせてあげようよというシナリオが出来ているように見えます。資料の配付が当日だというのは、大半がその説明に終始するのも当然のことです。

『千葉市柏市在住、20代、男性』

1 について

- ・ 「議論のための議論」ばかりではないか。議論の進め方に関する文書は「意見書」であって「資料」ではない。「意見書」は読めばわかる。協議員も傍聴者もそこまで馬鹿ではない。
- ・ 資料の丸読みはするな。「読んで下さい」でいいではないか。
- ・ それぞれが言いたいことを言っているが、つながりがない。あえてPIの場で言う必要がないことが多い。

2 について

- ・ 東京の外側に住んでいる人にとってはあれば非常に便利。やはり東名とつながっているかどうかが重要。しかし、100%絶対必要とは思わない。
- ・ 「地方に自動車道を通そうと考えるのは地方のエゴだ」という意見があるが、それなら「外環は環境破壊だから作るな」と言うのも地元民のエゴだと思う。

3 について

- ・資料の間違いに対する指摘があったが、事前に配布しておけばこの場でその件について取り上げることもなかろう。P I は議論の場であって、そういうことは事前に解決しておくべきだ。議論の進行状況を考えれば協議員もあえてこの場で間違いを指摘することもなかろう。
- ・読売の件は本質の議論とは関係ないからやめてください。その追求をするなら冷静に。

『江東区亀戸在住、20代、男性』

1 について

- ・橋本協議員が言うように資料が多すぎる。本当に必要な物だけに厳選すべきではないか。税金を使っていることだし、時間もない。しかしながら“原点”であるS40年代の資料が出てきたことは評価できる。
- ・新聞社への抗議は筋違いである。資料がある以上、流れる事は仕方ない。犯人探しは無意味である。今日の資料をもとにまた違ったマスコミにも強迫されるだろう。
- ・ゲストを迎える案（新潟の堀江氏）にも賛成。

2 について

- ・すでに完成した埼玉部分、また都市決定した千葉部分についての決定過程と東京都部分の決定過程はなぜ違うのか？千葉側でP I を導入しなかったのはなぜか？

3 について

- ・事務局 - ホームページの更新が遅いような気がする（発表が遅い）。P I 協議会の様子をたくさんの人々に見ていただくために今後の予定を明示しておくべきではないか。あと、PDF ファイルは見づらい（使いづらい）。また、何でも公開するのはいいが、一般の人にはどこに何があるか分かりづらい。テーマ別にページを作り直してほしい。外環ジャーナルも連続性がないのだから、ホームページの連続性と充実を。

『武蔵野市在住、60代、女性』

1 について

- ・何をどのように議論するのか前以って幹事会を開いて定めるべき。P I 方式を本当に行うつもりなのか。時間切れで押し切るつもりなのではないか。読売の記事はその象徴だと思う。

2 について

- ・21Cは環境の時代で100年先の子供の時代を考えると、空気・緑・水を汚す道路を作るべきではない。

『三鷹市在住、40代、男性』

1 について

- ・資料の説明だけで、1時間20分以上かかるのは、異常。運営方法の検討がいるのではないかと？月2回の協議があるならば、そのうち1回を運営のための会議にしてはどうか？また、司会者は、1人の委員会の話時間が長い場合、どんどん短くするよう、要求するといい。

2 について

- ・東京外環は、もしできるとしても、何十年も先だろう。20年、40年、60年先の交通状況、社会、財政の予測、地球規模の環境・社会状況など、大きな視野でもって、議論していただきたい。そういった視点が、道路の必要性の議論には不可欠と思う。また、そのような面で、有識者の方々の見識をおうかがいしたい。

3 について

- ・私は、建設予定地住民だが、P I 協議会の進行状況が、傍聴に来るかインターネットで調べないと、分からない。ある程度、会議が進行した段階でいいから、地元へのフィードバック（双方向の）があってはどうか？

『武蔵野市在住、60代、男性』

1 について

- ・今回が初めての傍聴だが、資料が2時間の会議には多過ぎ。自分のビジネス経験でもこんなに資料の多い会議は「会議のための会議」で形式だけのもの。

- ・何を、どういうスケジュールで話し合っていくのか、決められているのかが見えなかった。会議のGOALをどう考えているのか。

2 について

- ・計画決定から、多くの事柄・環境が変わっている。外環必要の有無をもう一度、原点に戻り議論すべき。

『武蔵野市在住、60代、女性』

1 について

- ・PI方式に大変期待していましたが、がっかりしました。本気で行政が又委員がやる気があるのでしょうか。形だけで日本のPIははずかしいと思います。

2 について

- ・絶対反対。都市計画の見直し、本当に原点からの議論を望みます。

3 について

- ・協議員の中には外環道路について良い悪いにしろ理解していない。
- ・デメリットも資料としてもっと出すべきです。

『武蔵野市在住、60代、女性』

1 について

- ・「読売」にあのような記事が載った中で、住民への説明会が開かれて、住民は「外環」が進行し始めたと誤解する。「読売」に訂正記事を載せる必要があると思います。

3 について

- ・傍聴していて「PI」(はじめての本格的なもの)について、もう一度協議会全員が確認してほしい。今後の日本のPIのモデルになるようなきちんとした討議をして下さい。

『神戸市在住、40代、男性』

1 について

- ・始めて“傍聴”しました。今までの経緯が良く分かりませんが議論がなかなかかみ合っていないようです。長時間を要するかも知れませんが、本質論の議論が必要かもしれません。

3 について

- ・資料の説明の方法を少し工夫した方がいいと思います(出来るだけわかりやすい説明)

『武蔵野市在住、50代、女性』

1 について

- ・いつも資料提出の場となって、議論が2の次になっているようだ。今夜はやっと30分ほどの実質討議ができたようで、一歩前進といえるか。しかしながら、都や国は、PIの根底には相互の信頼が絶対に必要で、その点を忘れてはならないということをよく認識してほしい。

2 について

- ・外国の諸都市と同じように道路を作る必要はないと思う。昭和41年と現在とでは、あまりにも環境が変化してきている。もっと現状にあった道路政策を作る方がいいと思っている。一般道の整備に重点を置いた方がいいのでは。道路渋滞解消=外環とはならない。外環必要というが、どれだけの解決がみこめるのか不明。10%や5%の数値では、必要性には応じていないと思う。

3 について

- ・人間として、未来に何を残すのか、という大きな視点を考えてほしい。もし、絶対に必要だとするならば、計画論を変更してみたらどうか。議論の輪が更に広がると思う。市民の道路に対する興味ももっと深まるのではないかと。

『小平市在住、70代以上、男性』

1 について

- ・協議員によって武田・米津さんが建設についての意見をのべているのは現段階では不適切です。お2人の意見は必要論ではありません。練馬区大泉の現状解決は別途解決する事項です。行政の怠慢です。
- ・司会は渡辺提案をなぜはからないのか。無視したのか。
- ・必要性の論点はどのような事項があるのかを論議し、その論点に従って論議すべきではないでしょうか。

- ・論点整理がないから論点がバラバラになり、 unnecessaryな資料が出るのではないのでしょうか。
- ・今までの傍聴したのでは論議になっていません。
- ・必要だけでなく全般的な論点論議をして下さい。

2 について

- ・外環問題は首都圏（関東 1 都 6 県 + 山梨）の広域的交通問題です。国交省のグランドデザイン（関東圏 6 環状）から議論すべきです。
- ・都心の混雑・渋滞解消のための外環という論点は的はずれです。都心の解決策は T D M の総量規制ではないのでしょうか。
- ・行政の資料に誘発交通という交通論の基本的事項が欠落しているのはなぜですか。あまりに不公正、不透明、意図的です。
- ・10月29日の東京大気裁判判決における行政の違法性について議論すべきです。外環のもたらす公害の予測可能性と回避可能について討論してください。
- ・必要性論議の中の行政資料には「効果」のみでデメリット = 費用、損失。被害がないのはなぜですか。公益性はメリット、デメリットの比較軽量です。

『越谷市在住、40代、男性』

1 について

- ・本会の進め方について考えた方がよい。課題を絞ってください。先に進まない。

2 について

- ・必要性について、皆さんに説明してください。まず、これから理解してもらいましょう。

3 について

- ・11/5にはじめて傍聴しましたが、先に進めない。議論できていないと思います。
- ・本気で P I を進めましょう
- ・皆さんの信頼を回復しましょう。
- ・資料が多すぎます。